

2020.11.1

No. 174

蟹江町議会より9月定例会の
情報をお伝えます。

かにえ 議会だよ

よしかり
葭刈 (7/26)



みよしなが
神葭流し (8/3)

たなあ
棚上がり (8/9)

9月定例会特集号

- 決算認定
町財政は健全を堅持 2
- 令和元年度
決算審査 4
- ここが知りたい!
一般質問 6
- 議会報告会も中止に
議会における新型コロナウイルス感染症対策 .. 11
- 総務民生
常任委員会の審査 12

表紙のはなし

コロナ禍での須成祭

新型コロナウイルス感染症の影響はユネスコ無形文化遺産である須成祭にも及びました。

葭(よし)刈神事の場所の変更、葭刈後のご神体の土台作りでは丸太の太さを変える等、感染防止対策のため、例年とは祭全体の形態が大きく変わりました。また、多くの観光客が訪れる宵祭や朝祭は、神事のみを行いました。安心して須成祭を楽しめる時が一日も早く来ることを願っています。

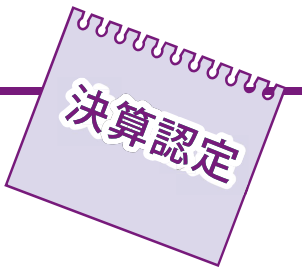
(写真提供: 須成敬神会)

令和2年(2020年)11月1日
発行/蟹江町議会 編集/議会広報編集委員会
〒497-8601 愛知県海部郡蟹江町学戸三丁目1番地
TEL(0567)95-1111 FAX(0567)95-1525

ホームページも見に来てね!

蟹江町議会

検索



町財政は健全を堅持

一般会計 歳入115億8,854万6千円
歳出110億4,899万7千円 を認定

定例会のあらまし

令和2年9月定例会は、9月2日(水)から25日(金)までの会期で開かれました。

◆2日(開会)

条例改正案、補正予算案など、あわせて19件が提案説明され、そのうち1件の補正予算案を可決、2件の人事案件に同意しました。

◆7日(常任委員会)

総務民生常任委員会が開かれ、本会議から付託された議案3件の審査をしました。

◆10日(一般質問)

8人が一般質問(8問)を行いました。(P6〜10参照)

◆17日(決算審査)

令和元年度決算認定案が審査されました。(P4〜5参照)

◆25日(閉会)

質疑・討論を行った後、全ての議案が可決され、閉会しました。

町表彰者を決定

町表彰

(全員賛成)

多年にわたり町の発展に貢献された方や、多額の寄付をされた方などを表彰する「町表彰」の決定に賛成しました。

▼町政表彰者 1人
(町議会議員)

▼一般表彰 14人
(人権擁護委員、町職員など)

▼寄付 5者



条例改正案を審議

パートタイム会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の二部改正

(全員賛成)

パートタイム会計年度任用職員の報酬額が愛知県地域別最低賃金額を下回る場合は、地域別最低賃金額を適用するものとします。

国民健康保険税条例の二部改正

(全員賛成)

新型コロナウイルスに感染等した被保険者の減免申請書を受付するにあたり、特別な事情がある場合には、申請書の提出期限を町長の定める日までとできるよう規定を整備します。

人事案件を審議

◆教育委員会委員

任期満了(令和2年9月30日)に伴い、町教育委員会委員2人の任命について同意を求められ、全員賛成で同意しました。

任期は4年です。

▼再任・森田欣一氏
(蟹江新町字中之割)

▼新任・太田文安氏
(蟹江新田字吉左工門裏)



会計別	補正額	補正後の額	審議結果	
一般会計(第4号)	2億2,140万2千円	163億6,464万7千円	全員賛成	
一般会計(第5号)	4,663万1千円	164億1,127万8千円	全員賛成	
特別会計	国民健康保険事業(第2号)	1,167万1千円	34億7,976万9千円	全員賛成
	介護保険管理(第1号)	1億8,490万2千円	29億4,915万6千円	全員賛成
	コミュニティプラント事業(第1号)	127万5千円	1,359万6千円	全員賛成
	後期高齢者医療保険事業(第1号)	1,727万7千円	9億2,923万2千円	全員賛成

○一般会計補正予算(第4号)
 新型コロナウイルス感染症対策費用の主な内容
 ●庁舎トイレ改修(3,100万円)
 衛生環境を改善し、来庁者の感染リスクを軽減するため、庁舎1階のトイレを改修するものです。
 ●保健センター改修(3,309万2千円)
 災害発生時の救護

場所、将来的な集団接種場所として拠点となる保健センターの空調換気設備や防水改修等、施設修繕工事を実施するものです。

●GIGAスクール関連事業(8,223万2千円)
 全小中学校にタブレット端末及び関連機器の早期導入、家庭学習のための通信機器整備の支援等をするものです。

●学校図書館システム整備事業(2,332万5千円)
 全小中学校の蔵書をシステム化に対応するよう整備するものです。



賛否が分かれた議案等一覧		○は賛成 ×は反対 議長は採決に加わりません														
提出者	議案名	会派等	公明党	日本共産党	立憲民主党	新風			新政会	無党派	無党派	無党派	無党派			
		審議結果	山岸美登利	板倉浩幸	中村英子	石原裕介	水野智見	安藤洋一	高阪康彦	佐藤茂	吉田正昭	奥田信宏	飯田雅広	戸谷裕治	伊藤俊一	黒川勝好
町長	認定第1号 令和元年度蟹江町一般会計歳入歳出決算認定について	可決	○	×	×	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○
	認定第2号 令和元年度蟹江町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	可決	○	×	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○
	認定第4号 令和元年度蟹江町介護保険管理特別会計歳入歳出決算認定について	可決	○	×	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○
	認定第6号 令和元年度蟹江町後期高齢者医療保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	可決	○	×	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○
	認定第7号 令和元年度蟹江町水道事業会計の利益処分及び決算認定について	可決	○	×	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○

令和元年度 決算審査

令和元年度決算(一般会計・特別会計5件・水道事業会計・下水道事業会計)認定案を審査し、すべて原案どおり認定しました。

私たちが指摘した一部をお届けします。

監査委員の意見



▲西尾代表監査委員

一般会計・特別会計決算審査意見書から(要旨)

各会計の歳入歳出決算書等を審査した結果、事務事業等は概ね適正に執行されており、その内容は適正であると認められる。

行政の基盤をなす一般会計の実質収支額は黒字であり、健全財政を堅持しているものと認められる。

主要な財源である町税の収入未済額は前年度に比べて増加となっているが、国民健康保険税の収入未済額は減少している。滞納整理事務が順調に遂行されており、今後も、税収の安定的な確保に努めていただきたい。



▲伊藤監査委員
(議会選出)

歳出については、各主要事業を的確に執行されている。近鉄蟹江駅、JR蟹江駅周辺の交通渋滞解消や煩雑化の解消に繋がり、町民の利便性に繋がるよう、完成後の運用等を確実に行っていただきたい。

町政の実行を確実に行うためには、町職員の協力が欠かせない。職員の健康管理のため、有給休暇の確実な消化を行うために年間計画の中に組み入れることが、蟹江町のより良い行政サービスに繋がるものと考えます。

一般会計等健全化比率

区分	令和元年度	平成30年度	早期健全化基準 (令和元年度)
実質赤字比率	黒字のため 計上されない	黒字のため 計上されない	14.01%
連結実質赤字比率	黒字のため 計上されない	黒字のため 計上されない	19.01%
実質公債費比率	3.4%	3.8%	25.0%
将来負担比率	53.9%	42.6%	350.0%

▼当町の公営企業は、資金不足額がないので、資金不足比率は計上されません。

令和元年度決算収支状況

◎は全員賛成、○は賛成多数を表しています。

(金額は、千円単位に四捨五入)

会計別	歳入決算額	歳出決算額	差引差額	反対者	
○一般会計	115億8,854万6千円	110億4,899万7千円	5億3,954万8千円	板倉・村	
特別会計	○国民健康保険事業	32億9,196万4千円	32億3,501万3千円	5,695万1千円	板倉
	◎土地取得	109万円	109万円	0円	
	○介護保険管理	27億4,407万3千円	25億8,346万1千円	1億6,061万3千円	板倉
	◎エムティ・プラント事業	1,439万5千円	1,311万9千円	127万6千円	
	○後期高齢者医療保険事業	8億5,235万円	8億4,655万3千円	579万7千円	板倉
合計	184億9,241万8千円	177億2,823万2千円	7億6,418万5千円		
○水道事業	8億1,464万3千円	9億7,168万円	△1億5,703万7千円	板倉	
◎下水道事業	12億615万2千円	11億2,267万8千円	8,347万4千円		

※各会計の合計額と差引額は、四捨五入したことにより合致しない箇所があります。
※それぞれの反対討論、賛成討論は、5ページに掲載しています。

実質赤字比率
一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率

実質公債費比率
一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率

資金不足比率
公営企業ごとの資金の不足額の事業規模に対する比率

連結実質赤字比率
全会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率

将来負担比率
一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

標準財政規模
地方自治体の一般財源の標準的大きさを示す指標

決算の審査から

賛成・反対討論

◎一般会計

《反対》 板倉議員
国の悪政に追随するのではなく、住民を守る立場での町政運営を要望する。

歳出について、超高齢社会に向かう中で、高齢者を応援することが不足していると判断する。憲法に沿った福祉の充実を要望し、総合的に歳入歳出を見た中で賛成できないと判断し、反対する。

《賛成》 石原議員
町の自主財源の根幹である町税収入増額については前年度と比較し1.3%増加している。町民の納税意識の向上と町職員の滞納対策の成果として評価できる。歳出については、町制130周年記念事

業、観光・産業振興プロジェクト事業等を遂行し、所期の目的を達成していると考え、賛成する。

反対



賛成

◎特別会計

○国民健康保険事業

《反対》 板倉議員

今後、激減緩和措置の縮小、被保険者数の動向により、更なる保険税の引上げが懸念される。準備基金に4,000万円積み増し、2億8,000万円に達したが、県単位化により保険給付の心配がなくなつた中で、ここまでの基金の積み上げについては疑問である。

保険税の更なる増額は妥当ではなく、また、国・県の支出金を元に戻すよう要望すべきである。町独自の減免制度の拡充を行い国保税を引き下げるべきと考え、反対する。

《賛成》 佐藤議員

国民健康保険制度は、住民の健康の保持・増進に貢献するものであり、今後も、給付と負担の公平を図るとともに、収納率の向上に一層努力するよう要望し、賛成する。



○介護保険管理

《反対》 板倉議員

介護給付費準備基金の積立額は、令和元年度末で28億8,000万円に達した。歳入歳出差引額1億6,000万円を繰り越す決算は、保険料の取り過ぎであり、被保険者へ還付すべきと考え、介護保険料や利用料の減免を充実させていくことが必要と考え、反対する。

《賛成》 水野議員

ますます進む高齢化社会の中で、今後もしも引き続き、家族等を含め適切な支援、健全な制度運営を行うっていくことを要望し、賛成する。



○後期高齢者医療保険事業

《反対》 板倉議員

制度発足以来、75歳という年齢で医療給付や健康診断等を行う年齢差別制度であると批判してきた。2年ごとの保険料の見直しは、加入者が増えれば自動的に保険料が引上げられる状況にながっている。県が事業主体となつた国保会計事業と統合すべきと考え、反対する。

《賛成》 高阪議員

この制度は、社会のために長年尽くされた高齢者の方々が、安心して医療を受けられるよう、社会全体で支える制度である。今後も、愛知県後期高齢者医療広域連合と連携し、健全な制度運営を行うよう一層努力することを要望し、賛成する。

◎水道事業会計

《反対》 板倉議員

利益剰余金は1億5,000万円を超える額をため込んでいる。利益剰余金を増やし続ける必要はなく、格差社会である今、この利益剰余金を使い水道使用料に還元すべきと考え、反対する。

《賛成》 石原議員

令和元年度の水道事業では、排水施設の耐震化及び老朽化対策が施行され、安心安全な水道水の安定供給が図れた。今後、人口減少が懸念され、水の需要の減少、施設の老朽化等、水道事業経営に厳しいものがあるが、将来にわたり安心安全な水道水の供給を推進することを要望し、賛成する。



ここが
知りたい!

一 般 質 問

9月定例会では、8人が一般質問を行いました。
質問と答弁を要約した内容は、7ページから10ページまでです。
全文記録(会議録)は、12月下旬に町議会ホームページに掲載します。

安心して暮らせる地域づくりを 7
山岸美登利(公明党)

少人数学級は実現できるのか! 7
板倉浩幸(日本共産党)

安心安全なまちづくりを 8
佐藤 茂(新政会)

我が蟹江のまちづくりについて 8
伊藤俊一(無党派)

安全運転対策支援について 9
石原裕介(新風)

近鉄蟹江駅南側地区は重要ではないのか? 9
戸谷裕治(無党派)

役場窓口の3密回避を進めよ 10
飯田雅広(無党派)

新型コロナ対策を問う!! 10
中村英子(立憲民主党)

○一般質問とは

議員が執行機関(町や教育委員会など)に対し、町政全般にわたっての考えや将来などについて説明を求めたり、または、所見をただすことをいいます。

町議会では、一般質問をしようとするときは、「通告書」を定例会初日の前日の正午までに議長へ提出することとしています。なお、質問の順番は、議長がくじにより決定します。



山岸美登利
(公明党)

問 安心して暮らせる地域づくりを

答 認知症サポーターの養成を

問 認知症施策の柱である「認知症初期集中支援チーム」の支援内容と、住民が支援を受けたい時の周知方法は。

介護支援課長
医療職・介護職が訪問し、その後、かかりつけ医などからの助言や連携を受け、ケアマネジャーに引き継ぐなど、必要な支援を行う。広報掲載や、地域包括支援センター等で周知している。

問 当事者を支援する「認知症サポーター」の養成方法と、住民・町全体で理解を深めるための普及啓発への取り組みは。

介護支援課長
認知症予防対策として、認知症予防教室や認知症カフェなどを実施している。平成27年4月から「蟹江町認知症高齢者等徘徊SOSネットワーク事業」を実施している。

介護支援課長
認知症サポーター養成講座を開き、講話やビデオ上映を行っている。

認知症地域支援推進員が養成講座の講師役（キャラバン・メイト）の育成を支援し、より多くの方に理解を深めていただくための活動を行っている。

問 少人数学級は実現できるのか！



板倉浩幸
(日本共産党)

答 教員の確保は少数でも難しい

問 小中学校の3か月ぶりの再開で、心のケアに取り組み手厚い教育・詰め込みではない柔軟な教育が大切であり、必要ではないか。

教育長
担任の先生を中心に、子どもたちの心身の状態変化に留意しながら教育に当たっている。

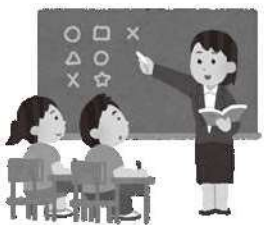
次長兼教育課長
小学校79教室、中学校35教室、合計114教室が必要となる。現在、小学校66教室、中学校28教室、合計94教室なので、20教室がさらに必要となる。

教員は、増室分を配置すると、さらに20人の増員が必要となる。

問 少人数学級は密を避けられる利点がある。28人学級に必要な教室・教員数は。

問 国の予算が十分な状況の下、町のやりくりで教室や教員の確保は可能か。

次長兼教育課長
教室の確保は、少数であれば可能だが、教員の確保については、少数の増員でも経費が高くなるので、非常に難しい。



問 安心安全なまちづくりを

答 回復時期を見据えしっかりと準備を



佐藤 茂
(新政会)

問 富吉駅南のまちづくり計画において、どれだけの人々を定住させる計画か。
まちづくり推進課長 目標人口として、約1,000人を予定している。

問 近年の風水害の多頻度、激甚化を踏まえ、
①対策と、その周知方法は。
②避難場所を兼ねた子育て支援施設への誘導は。
③避難場所を兼ねた企業誘致は。
まちづくり推進課長 ①建築制限の手法等を検討し、災害対策を図りたい。
保留地処分や土地

売買等の際は、購入希望者に対してハザードマップに関する説明を行う。
③避難所として協力していただける施設を誘致し、協定を締結したい。
子ども課長
②公共施設個別施設計画に基づき、経過年数や老朽化の進み具合を総合的に検討したい。

問 コロナ禍の下、富吉駅南のまちづくりをどのように進めていくか。
まちづくり推進課長 感染症の脅威から解放されるには時間がかかるが、回復傾向となる時期は必ず来る。健全運営のための対策を図る時間はあるので、しっかりと準備したい。

問 我が蟹江のまちづくりについて

答 東郊線の県道格上げは引き続き要望を



伊藤 俊一
(無党派)

問 以下に答えよ、
①今須成線開通を急げ。
②東郊線踏切の早期拡幅を急げ。
③東郊線の県道格上げは進んでいるか。
④JR蟹江駅の開発計画を示せ。
土木農政課長

①未買収地の早期取得を目指し、事業推進に努める。
②蟹江川堤防踏切廃止の住民説明会の開催を検討する。
③県議会建設委員会、市町村別事業調整会議で、毎年要望事項として提案している。
まちづくり推進課長
④区域に公園が不足しているため、南駅前線の整備と合わせ

て公園整備も検討したい。

問 富吉駅南地域の開発について丁寧に説明せよ。また、蟹江警察署2階のポルト発着場と開発地域の高低差が心配だ。
まちづくり推進課長

令和3年度の市街化編入に向けて、県と協議を行っている。富吉南地区は最大3mの浸水想定であり、調整池の整備を始め、減災対策を図りたい。

問 3世代ふれあいプラザを須西学区に建設する計画は。
民生部長 須西小学校区における合意形成を確認したい。要望をいただいた上で、事業計画の策定に取り組みたい。



石原裕介
(新風)

問 安全運転対策支援について

答 安全運転装置補助制度を開始

問 移動手段の支援として、後期高齢者を対象にタクシークケットを配布してはどうか。

民生部長

移動支援に限らず、高齢者支援施策として、よりよい制度を考えたい。

問 免許証を返納された方に、祭人の金券や泉人の入浴券等の特典を付けてはどうか。

安心安全課長

現在、お散歩バスを無料で運行しているが、他の施策についても関係各課と連携し、検討したい。



問 現在乗っている車に、急発進等抑制装置を付けた場合、補助はあるのか。

安心安全課長

①今年度中に65歳以上になる
②申請者が車検証の使用者欄と同一である
③国土交通省の認定品である後付けの装置をつける
この3条件を満たす方を対象に、補助率5分の4、上限額32,000円もしくは16,000円の補助金制度を7月1日から開始している。

問 近鉄蟹江駅南側地区は重要ではないのか？

答 まちづくりに対する機運を高めたい



戸谷裕治
(無党派)

問 宝地区開発検討委員会による地権者に対するアンケート調査結果をどのように受け止めるか。

まちづくり推進課長

町内の方からの回答が90%ということで、大変回収率の高いアンケートであったと思う。市街化区域について、半数を超す賛成意見があったことから、今後は地域のまちづくりに対する機運を更に高めていきたい。

問 開発著しい名古屋市中港区南陽地区から近鉄蟹江駅へ、バス乗り入れを要望する住民運動がある。

当町にとってチャンスであり、名古屋市と連携を密にすべきと考えるが、どうか。

政策推進課長

交流人口や新たな交通網が増える点で、ありがたい意向だと捉えている。名古屋市中から正式に要望が出たら、しっかりと向き合いたい。

問 町内幹線軸である、七宝蟹江線の西福田地区への南進を広域連携で進めるべきではないか。

副町長

南陽巡回バスの延伸の要望が名古屋市に出ている。路線が通ることになれば、都市計画道路の線形の変更を含めて、協議しながら進めたい。



問 役場窓口の3密回避を進めよ

答 導入効果を精査し、検討する



飯田雅広
(無党派)

問 新型コロナウイルス感染症感染防止対応（窓口の3密回避）として、

① 窓口混雑状況のネット配信や、事前のネット申請をしてはどうか。

② 時差出勤やテレワークをさらに推進してはどうか。

③ 住民票等をコンビニで交付できるようにしてはどうか。

④ 手数料・施設使用料等もキャッシュレス決済できないか。

総務課長

① オンラインの活用については、町のシステムのある方の大きな変化が想定される。導入効果や適正な利用・活用方法を

精査し、検討したい。

② 働き方改革の観点からも、テレワークや会議の遠隔実施、動画配信等の導入可否について検討したい。

民生部長

③ 利用者の利便性、費用対効果、マイナンバーカードの普及率を見極めた上で、導入に向けて判断したい。

総務部長

④ コロナ禍の中、多様な決済手段を導入することは、大変有用と考えている。国によるキャッシュレス化推進施策も踏まえ、担当所管課と協議の上、前向きに研究、検討したい。



問 新型コロナ対策を問う!!

答 社会福祉協議会と連携を



中村英子
(立憲民主党)

問 親子で療養が違うなど、家族感染で頼る人がいない場合、支援できるのか。

民生部長

個人情報保護を理由に、県から町に情報提供されないため、食料支援、軽症者の宿泊支援は県の施策として行われる。

問 秋冬に向けてインフルエンザとコロナの両方への対応が予想される。近くのかかりつけ医でPCR検査できる態勢が望ましいが、どう考えるか。

町長

65歳以上の方へのインフルエンザ予防接種の予算を認めて

いただいた。海部医師会へは、発熱外来について、かかりつけ医の下で、車内で診ていただいたり、必要に応じて保健所と連携する等、要望をしている。

問 新型コロナで外国人、ひとり親世帯、母子世帯など、困窮している家庭がある。支援は検討しているのか。

民生部長

ひとり親世帯についてはアンケートを実施し、学費、食料支援を望んでいるという現状を把握している。

今後は、社会福祉協議会との連携が必要と考えている。情報共有を図りつつ、困窮世帯への対応を進めていかなければいけないと認識している。

議会における新型コロナウイルス感染症対策

○町議会では新型コロナウイルス感染症対策として、これまでに次のような取り組みを行っています。

- ・3月議会では議会の日程を当初の予定から短縮
- ・町職員側の出席者を最小限とする
- ・議員側、町職員側ともに、席の間隔を空けて着席
- ・発言の際にフェイスシールドを着用
- ・席の入れ替え時にアルコールによる消毒を実施
- ・一般質問を行う議員は質問数を1問(通常2問まで)とするよう努める



▲議会も密を避けて



▲飛沫防止

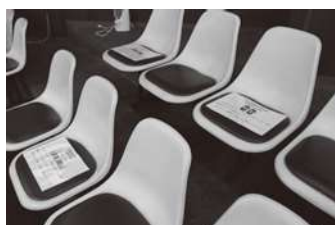


▲アルコールによる消毒

○傍聴を希望される方には、マスクの着用、入場時の手指の消毒、座席の間隔を空けての着席をお願いしています。ご不便をおかけしますが、傍聴者の皆様の安全を守るため、ご理解とご協力をお願いします。



▲予防の一步は手指消毒から



▲ソーシャルディスタンスの確保を



今後も、感染状況を注視し、適切な議会運営に努めて参ります。

令和2年度議会報告会の中止について

10月24日に開催を予定していましたが、令和2年度の議会報告会は、新型コロナウイルス感染症の感染状況に鑑み、中止としました。来場を予定されていた皆様にはご迷惑をおかけすることになり、申し訳ありませんでした。

一日も早く感染症の脅威が終息し、来年度は無事に開催できるよう、議員一同願っております。



▲令和元年10月19日の様子

常任委員会の審査

9月議会で上程された案件について、委員会でも審査した要旨をお届けします。総務民生常任委員会では、議案3件の審査を行いました。

総務民生

表彰について

(全員賛成)

問 寄付の表彰について、団体の代表者の役職と名前が出ていたと思うが、問題があったのか。

総務課長

団体に対する表彰なので、議案では代表者の表記をなくした。

問 コロナの状況の中、表彰式はどのような形態で行うのか。

総務課長

現時点では、来賓の数を減らして行うよう検討している。

パートタイム会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正

(全員賛成)

問 愛知県の最低賃金に合わせるということだが、今までも最低賃金だったのか。

総務課長

現在の蟹江町のパートタイム会計年度任用職員の一番低い給与の時間単価は、最低賃金を下回ってはいないが、下回る場合違法になるので改正するものである。以前も、最低賃金以下の場合、最低賃金を上回るよう、給与を改定していた。

問 最低賃金が毎年上がっている中で、報酬基準額を変更する

るのではなく、最低賃金以下になった場合、最低賃金分の報酬を払うということではないか。

総務課長

職員の給与については、条例で定めている関係上、その都度、給料表を改正するのは難しい。最低賃金が大幅に上がった場合、最低賃金を下回らないように、条文を整理するものである。



国民健康保険税率例の一部改正

(全員賛成)

問 所得要件で、前年の所得が1,000万円以下ということになっている。例

えば、前年所得が1,500万円あった方が、今年大幅に所得が減った場合でも、基準は前年なのか。

保険医療課長

今回の新型コロナウイルス感染症による国民健康保険税の減免については、国の財政支援を受けるため、国の規定に沿った形で実施する。今年の所得が1,000万円を切っても、前年の所得が1,000万円を超える場合は対象にならない。

問

今回の規定について、令和2年2月1日から適用だが、それまでに納付した分はどうなるのか。

保険医療課長

令和元年度分も一部対象となる。既に納めた分が減額になった場合は、還付する。

問

今回の減免申請

について、国からの財政支援は100%だが、今後、国の支援なしに町独自で行う場合どうなるのか。

保険医療課長

国の支援が受けられない場合は、適宜検討し、状況に合わせて考えたい。

問

傷病手当を受けられる方は、減免についてはどうなるのか。

保険医療課長

傷病手当と国民健康保険税の減免は、同じ対象者になる場合もある。傷病手当を受けていたときながら、保険税は全額免除となる。

問

国民健康保険税を滞納している方は、減免申請をできるのか。

保険医療課長

要件を満たしていれば、対象となる。

編集後記

3月定例会より3密を避けながら議会を行っています。9月定例会も、新しい生活様式を取り入れながら行われました。皆さまも新しい生活様式に少しずつ慣れていきましょう。

コロナ禍を乗り越えていくため、議会と行政が丸くなって取り組んでまいります。(飯田)

寄付行為の禁止

議員はお祭りなどへの寄付や、お酒などを差し入れることを禁止されています。有権者が求めてもいません。ご理解をお願いいたします。

議会広報編集委員会

- ◎飯田雅広
- ◎板倉浩幸
- 山岸美登利
- 石原裕介
- 佐藤 茂
- (◎委員長 ○副委員長)

12月議会の予定

※議会ホームページにも掲載されています。

3日(木)開会 14日(月)一般質問
4日(金)3日の予備 15日(火)14日の予備日
9日(水)常任委員会 17日(木)閉会

※議事の都合により日程は変更になる場合があります。

※赤字の会議は傍聴することができます。(コロナ対策により、入場制限をさせていただく場合があります。)

傍聴席は役場3階にあります。

【問合せ】議会事務局 電話0567(95)1111(代表)



議会放映

一般質問の様子をクローバーTVで生放送します。当日午後7時から再放送も実施します!